



AUN (ASEAN大学連合)  
AUN加盟大学に対するプログラムアセスメントについて

AUNでは、ASEAN地域の高等教育水準の向上に資する質保証メカニズムの構築にむけた取組みとして、加盟大学に対するプログラムアセスメント（正式名称：AUN Actual Quality Assessment at Programme Level）が実施されている。アセスメントは2007年に開始され、学部レベルの15分野を対象として実施されている。AUNが策定した15の基準に基づき、自己評価・書面調査・訪問調査を行い、最終的に基準ごとに7段階で評定する。2007年12月から2013年12月までに、10大学58プログラムが受審。

●目的

国を越えた枠組みのもとで評価を行うことにより、ASEAN地域での「調和」を図っていくことを狙いとする。共通の枠組みで評価されたプログラムは透明性・比較可能性が高まり、単位互換の円滑化、ひいては学生流動の促進に寄与することが期待されている。

●対象分野

2011年12月現在で、学部レベルの15分野がアセスメントの対象。ASEANでは学生交流において優先する専門分野を特定しており（工学、医学、歯学、看護、建築、会計）、これらもAUNのプログラム評価の対象に概ね含まれている。

<アセスメント対象の15分野>

工学	情報技術	情報科学	経済学	物理学
生物学	医学教育	化学	薬学	生物工学
心理学	文学	企業経営	建築学	ベトナム研究

●アセスメント基準

<基準の考え方>

アセスメント基準の構成・考え方は、AUNが提唱する「質保証モデル」(AUN-QA Model)に由来する。「質保証モデル」は、多種多様なASEAN諸国の大学にも適用し得るモデルとして考案されたもので、「長期的戦略性」(Strategic)、「体系性」(Systemic)、「短期的戦略性」(Tactical)の3つの概念から成る。それぞれの概念に対応する具体的なアプローチとして、「Strategic=機関レベルの質保証」、「Systemic=内部質保証システム」、「Tactical=プログラムレベルの質保証」が提案されている。

そのうち、プログラムアセスメントは、プログラムレベルの外部質保証のために実行するものである。

## <基準構成>

プログラムアセスメントは、教学両面（Teaching and Learning）における「インプット」「プロセス」「アウトプット」の「質」に主眼を置く。そのため、アセスメントの基準は、PDCAのアプローチに沿って、15基準で構成される。

すなわち、大学は、期待する学習成果を定めているか、教育提供のための体制を整備し、教育を実施しているか、教育の結果として修了時の学生のアウトプット（卒業率、退学率、就職率）を通じて期待する学習成果の到達度を測っているか、改善の取組みとして、学生や卒業生、雇用主からのフィードバックを収集・分析しているか、という点を重点的にみることとしている。

### AUNプログラムアセスメントの基準

1. 期待する学習成果（Expected Learning Outcomes）
2. 期待する学習成果の書面化・公表（Programme Specification）
3. プログラムの構成・内容（Programme Structure and Content）
4. 教授・学習についての戦略（Teaching and Learning Strategy）
5. 学生に対する成績評価（Student Assessment）
6. 教員の質（Academic Staff Quality）
7. 支援スタッフの質（Support Staff Quality）
8. 学生の質（Student Quality）（※アドミッション・ポリシーや入試結果をみる）
9. 学生に対する助言・支援（Student Advice and Support）
10. 施設・設備（Facilities and Infrastructure）
11. 教授・学習プロセスの質保証（Quality Assurance of Teaching and Learning Process）
12. SD活動（Staff Development Activities）
13. ステークホルダー（学生、卒業生、雇用主）からのフィードバック（Stakeholders Feedback）
14. 卒業生の質（卒業率）・学習成果の到達状況（Output）（※教員・学生に対するヒアリングを通じて、成果の評価方法を確認）
15. ステークホルダーの満足度（Stakeholders Satisfaction）

## ●プロセス

①評価チームの編成・評価実施計画の策定、②自己評価書作成、③評価の実施（書面分析、訪問調査）、④評価結果の確定、改善のアクション。

## ●主要資料

アセスメントの実施方針や基準、評価方法等についてまとめたガイドブック「Guide to AUN Actual Quality Assessment at Programme Level」を2011年に刊行。2006年にAUNが刊行した「Manual for the Implementation of the Guidelines」を改訂し、AUN事務局と国立シンガポール大学質管理部門との共同編集により作成。ガイドブックの構成は下表のとおりで、総ページ数は156。

## 「Guide to AUN Actual Quality Assessment at Programme Level」の構成

<p>1. AUNの考える質保証モデルの紹介</p> <p>2. 各評価基準の詳細説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 基準</li><li>・ チェックリスト</li><li>・ 趣旨</li><li>・ 分析のための質問リスト</li><li>・ 根拠資料</li></ul> <p>3. アセスメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 原則、実施体制</li><li>・ 自己評価書の構成</li><li>・ アセスメントの準備（評価者に対する研修内容を含む）</li><li>・ アセスメントのプロセス</li><li>・ アセスメント報告書（評定の考え方を含む）</li></ul> <p>付録（チェックリスト、テンプレート、報告書見本等）</p>	<p>基準ごとに説明 (別添1：基準の内容(例)参照)</p>
--	-------------------------------------

### ●アセスメント結果の表し方

各基準は1～7段階で評定される。(最高の7点＝世界水準もしくは先進的な取組み)

なお、教授・学習に関する基準にかかる評定は、別の表現が用いられるが、内容は下記と同様である。

#### 7段階評定：7-point scoring scale

- 1=nothing (no documents, no plans, no evidences) present
- 2=this subject is in the planning stage
- 3=documents available, but no clear evidence that they are used
- 4=documents available and evidence that they are used
- 5=clear evidence on the efficiency of the aspect
- 6=example of best practices
- 7=excellent (world class or leading practices)

アセスメント結果は、各基準の評定とともに、総合結果が示される。

例：「15基準のうち、9基準が5点（AUNの定める基準を上回る）、5基準が4点（同基準を満たす）、1基準が3点（基準を下回り軽微な改善が必要）。総合的に、貴プログラムの質は4点と5点の間にあると評価する。」

### ●評価費用

大学側は、ロジに係る費用（評価者の旅費・滞在費）および評価者への謝金を負担。

#### 【出典】

\* *Guide to AUN Actual Quality Assessment at Programme Level*, AUN, 2011年6月

<http://www.aunsec.org/pdf/5.2.1.2.3GuidetoAUNActualQualityAssessmentatProgrammeLevel-15Criteria.pdf>

\* *ASEAN University Network ANNUAL REPORT 2010/2011*, AUN, 2011年9月

\* *The ASEAN University Network Quality Assurance Journey: Challenges and Lessons Learned*, Tan Kay Chuan, 1st ENAEE (European Network for Engineering Accreditation) Annual Conference, 2012年11月11-12日

## 別添 1 : 基準の内容

### (例 : 基準 13 - ステークホルダーからのフィードバック)

#### 2.13 Stakeholders Feedback

##### AUN-QA Criterion 13

Universities are encouraged to have a built-in regular curriculum evaluation and course appraisal, involving all stakeholders (decision makers, employers, students, alumni, etc). (1.15)

##### AUN-QA Criterion 13 – Checklist

13	Stakeholders Feedback	1	2	3	4	5	6	7
13.1	There is adequate structured feedback from the labour market							
13.2	There is adequate structured feedback from the students and alumni							
13.3	There is adequate structured feedback from the staff							
	Overall opinion							

##### Explanation

We have defined quality as "achieving the goals and objectives". Formulating our objectives we have to take into account the requirements set by the stakeholders. To learn more about this, we need to have an efficient feedback system.

##### Diagnostic questions

Does the university have an efficient monitoring system, including:

- structured feedback from the labour market
- structured feedback from staff
- structured feedback from the students
- structured feedback from the alumni

Contact with graduates.

- Does the department maintain contact with its graduates after graduation? Is there an association of graduates/alumni?
- What do graduates think about the programme?
- Is information from graduates used (feedback about their programme, information about developments in the labour market) to adjust the programme, if necessary?

##### Sources of Evidence

- Regular and ad-hoc formal and informal surveys and feedback mechanisms
- Response rates
- Uses of feedback for improvement

#### 基準13 ステークホルダーからのフィードバック

大学において、意思決定者、雇用主、学生、卒業生を含む全てのステークホルダーが関与した、カリキュラム評価およびコース評価の日常的な実施が奨励されている。

##### ●チェックリスト

- 13.1 労働市場からの十分なフィードバック制度がある
- 13.2 学生や卒業生からの十分なフィードバック制度がある
- 13.3 スタッフからの十分なフィードバック制度がある

##### ●趣旨

我々は、目標や目的を達成している状態が質保証されていると位置づけている。目標設定にあたっては、ステークホルダーが求める要件を考慮すべきであり、その要件というものを明らかにするには、効果的なフィードバックのシステムが必要である。

##### ●分析のための質問リスト

当該大学には、以下を含む効果的なモニタリングシステムがあるか？

- 労働市場からのフィードバック制度
- スタッフからのフィードバック制度
- 学生からのフィードバック制度
- 卒業生からのフィードバック制度

##### 卒業生との交流について

- 当該学部/学科では、卒業後も卒業生との交流を継続しているか？また同窓会組織はあるか？
- 当該プログラムについて、卒業生からの反応(評価)はどのようなものか？
- 卒業生からの情報(プログラムについてのフィードバックや労働市場の動向に関する情報)は、必要に応じて当該プログラムの改善等のために役立てられているか？

##### ●根拠資料

- 日常的/単発的に実施される公式/非公式の調査/フィードバックの仕組み
- 回答率